

(様式3)

会議の開催結果について

| | |
|--------------------|---|
| 1 会議名 | 平成28年度 第1回 文化財保護審議会 |
| 2 開催日時 | 平成28年10月3日(月) 14時から |
| 3 開催場所 | 市役所7階 行政委員会室 |
| 4 会議の概要 | ◎報告 「国史跡烏帽子形城跡整備事業 平成27年度事業実施報告及び平成28年度事業実施状況」について ◎報告 「国史跡烏帽子形城跡整備事業 平成29年度事業実施計画(案)」について ◎報告 「文化財保存活用計画」について ◎報告 「文化財登録原簿への登録手続き」について ◎報告 「平成27年度 事業報告」について 上記5件の報告が行われた。 |
| 5 公開・非公開の別 (理由) | 公開 |
| 6 傍聴人数 | 1人 |
| 7 問い合わせ先 | (担当課名) 生涯学習部 ふるさと文化財課 (内線749) |
| 8 その他 | 特になし |

*同一の会議が1週間以内に複数回開催された場合は、まとめて記入できるものとする。

平成28年度 第1回 文化財保護審議会議事録

日 時：平成28年10月3日（月）午後2時から午後4時

場 所：河内長野市役所 7階 行政委員会室

出席委員：櫻井 敏雄 会長

中村 浩 副会長

樽野 博幸 委員

川合 康 委員

小谷 利明 委員

事務局側出席者：和田 栄 教育長

橋本 亨 生涯学習部長

井上 剛一 ふるさと文化財課長

太田 宏明 ふるさと文化財課係長

大江 綾子 ふるさと文化財課副主査

細木 彩 ふるさと文化財課副主査

案 件： ・報告第1号

報告「国史跡烏帽子形城跡整備事業 平成27年度事業実施報告
及び平成28年度事業実施状況」について

・報告第2号

報告「国史跡烏帽子形城跡整備事業 平成29年度事業実施計画
(案)」について

・報告第3号

報告「文化財保存活用計画」について

・報告第4号

報告「文化財登録原簿への登録手続き」について

・報告第5号

報告「平成27年度 事業報告」について

【開会】

〈教育長挨拶〉

〈会長挨拶〉

【報告第1号】 報告「国史跡烏帽子形城跡整備事業 平成27年度事業実施報告及び平成28年度事業実施状況」について

小谷委員：伐採によって高野街道が見えるようになる場所はあるか？

太田係長：頂上の主郭で、路面は見えないが、高野街道のまち並みを見渡せる区域はある。

中村副会長：文化庁、大阪府と連携しておれば問題ないと思うが、基本は旧状に戻すという姿勢で実施願いたい。

櫻井会長：誘導サインの大きさはすべて同じか？

大江副主査：サインは6種類あり、種類ごとに大きさは異なる。

櫻井会長：2本脚の看板だと、大きな看板となり全体の雰囲気壊してしまう可能性がある。1本脚で全体の雰囲気を壊さないような軽微な看板にしてはどうか。また、面白いデザインはないのか？看板は必要最小限で考えている。

太田係長：サインに地図をつけることや、遺構が多くある場所は地上型の低い控えめなサインの設置などを検討している。

中村副会長：サインが大きくなるのであれば、QRコードをつけてスマートフォンと連動させて説明をする仕組みを構築してはどうか。木の矢印で方向だけ示し、後はスマートフォンで説明を読んでもらうことで、余分な文章を省くことができる。

教育長：計画の変更はできないのか？

小谷委員：ポールはすでに立っている状態である。

【報告第2号】 報告「国史跡烏帽子形城跡整備事業 平成29年度事業実施計画（案）」について

小谷委員：従来は天正12年の時期に中村一氏が高野攻め、根来攻めのために修理したのが最後とされているが、大阪府史の近世編によると、小牧・長久手の戦いの一環として徳川方の河内・摂津の軍勢を攻めるために、修理したと読める。烏帽子形城の最後の段階の評価が読み違えられており、違う認識で城がつくられたようになっている。中村一氏の家臣の古文書の中に、烏帽子形城の修復時の文書があり、それによると河内長野市域全体が秀吉方の敵地域とみられ、軍事行動が起きたと読める。小牧・長久手の戦いとは天下分け目の戦いであり、関ヶ原の戦いと同じ性格をもった戦いに使われた城とすると価値の高いものになる。以前の認識とは異なるため、烏帽子形城の性格を再認識し、今一度整理して進めるようにすべきである。

櫻井会長：看板にも反映させなければいけないのでは？

小谷委員：すでに事務局側と調整している。

中村委員：訂正に対応しやすいは、やはりバーコード読み取り式のスマートフォンである。

書く部分は動かないところだけでよい。

樽野委員：野外なので、バーコードの張り替えは簡単ではない。

櫻井会長：文化財の分野でも、維持管理に重きを置いていかないといけない。

樽野委員：維持管理は将来を見据えて進めるべきである。

教育長：歴史的な事実認識はよく変わるものなのか？

小谷委員：研究が常に進んでいるので一年ごとに、見解が更新されることがありうる。特に戦国期はよく変わっている。

川合委員：今の段階で有力なもの、スマートフォン対応も今後検討に入れ、両方意識して取り組むべきである。

櫻井会長：設置が低いと、子供が転んで怪我をする恐れがある。周囲の安全性は？

大江副主査：通路から離れた場所に設置予定である。

太田係長：ある程度大きさがあるため、視認性も高い。木の根っこの方は気になる点である。

【報告第3号】 報告「文化財保存活用計画」について

川合委員：歴史文化遺産データベースの公開とは、どのような作業をするのか？

太田係長：市内の悉皆調査のデータに関して、表に出して良いものと良くないものがあり、公開するための作業を実施する。

川合委員：金剛寺文書と観心寺文書について、地域に根差した文書であれだけ残っているのは珍しい。公開は難しいと思うが、これがあることをもって全国にアピールしてみてもどうか？最終的にはインターネットで見られれば一番良いと思うが、そこまで行かなくとも、せめて代表的なものだけでも公開してはどうか。

太田係長：これに関連して、金剛寺で日本女子大学と連携して取り組んでいる。

櫻井会長：審議会では以前よりお願いしてきた。予算をつけて、継続的に取り組んでほしい。

中村副会長：大阪大谷大学で観心寺の悉皆調査にマイクロフィルムで個人的なものを除き、全て撮影させてもらった。マイクロフィルムは劣化してくるので、現在 CD に焼き付けている途中である。観心寺と大阪大谷大学はかなりの年数を連携して取り組んでいる。

櫻井会長：公の機関が主体的に責任をもって調査するべきである。

中村副会長：延命寺でも文書をつくった。

櫻井会長：この件は課題が多いので、議事録をつけて振り返りを行えるようにしておくとうい。

川合委員：地元の方にあまり知られていないのも課題である。

小谷委員：研究が整っていない時代なので、市史の記述をみても観心寺・金剛寺の事項に

についても年代が間違っていることが多い。

教育長：いかに市民にフィードバックしていくのか、良い方法があれば教えて頂きたい。

小谷委員：尼崎市に専門家が書いた文章を自分達で読み解き学習する「市史を自分達で読む会」というのがある。立派な市史があっても読んでみないことには理解できない。また、今月末、立命館大学で紺屋型紙のシンポジウムが開かれる。ヨーロッパのクールジャパンの流れで、河内長野の紺屋型紙の資料がヨーロッパで喜ばれている。この辺りを据え、良いものを持っていると広く伝える努力をすべきである。この点でふるさと歴史学習館では、良い取組が進められている。

櫻井会長：制度設計、活用計画の内容について、予算がなければ事実上うまく機能しない。予算を削減するのであれば、計画を有効に活用させるように、一律カットではなく、山谷をつけて選択して削減していくべきである。文化財をいかに観光に結びつけていくのか、他も注目している。知恵だけでなく、それを裏付ける予算も必要である。

教育長：文化財をもとに観光につなげていきたい。

【報告第4号】 報告「文化財登録原簿への登録手続き」について

櫻井会長：私が調査した後に、年号が決まったものはあるのか？

太田係長：いくつか判明したものはある。

櫻井会長：資料の差し替えを願いたい部分がある。

【報告第5号】 報告「平成27年度 事業報告」について

櫻井会長：歴史遺産活用事業について、昨年度と比べての予算の増減は？実施した事業を羅列しているが、事業実施の際にアンケートをとるなど、いかなる効果があったのか把握できるよう事業を実施してほしい。

太田係長：予算は烏帽子形城の整備のため昨年度と比べ全体では増えている。その他、新しい事業については新たな予算がついているが、それ以外の事業については削減されている。効果をどう次につなげていくかアンケートを実施し、市民の思いを反映していきたい。

櫻井会長：活用のためにお金が必要だが、人は増えないのか？仕事は増える一方なのに、課の人数に変わりがない。今の体制で対応できるのか？

太田係長：他課や民間組織と連携したりして、できるだけ小さな力で大きな成果を出していく努力をしていきたい。

小谷委員：歴史文化基本構想等策定事業と歴史遺産活用事業はリンクしていると思うが、研究や悉皆調査等はどこに含まれているのか？

太田係長：悉皆調査については、別に嘱託職員を雇用し実施しているので予算ベースでは直接的には現れない。

小谷委員：成果はどういう形でみえてくるのか？

太田係長：データベースで把握し、見やすく分類したり、専門の先生と小さな部会を開き、調査研究対象の相談等を行っている。

【その他】

事務局：次回は平成29年度2月頃に開催する。

【閉会】

以上